

# 先端技術を活用した農林水産研究高度化事業

## 平成15年度事業の概要

農林水産省では、現場に密着した農林水産分野の試験研究の迅速な推進を図るため、平成14年度から提案公募型の「先端技術を活用した農林水産研究高度化事業」を実施しています。

平成15年度は地域の農林水産業・食品産業等の活性化を図るため新たに地域活性化型研究を創設しました。

研究課題は、産学官連携による共同研究グループから公募し、採択された案件に対し研究を委託します。

農林水産省農林水産技術会議事務局  
地域研究課

## 事業の概要

本事業は、大きく、「研究領域設定型研究」と「地域活性化型研究」の二つの区分で研究課題の公募を行います。地域活性化型研究は、さらに、独創的現場シーズ活用型研究、地域競争型研究、広域ニーズ・シーズ対応型研究の3タイプを設定しています。

## 応募者の資格

応募には、以下の要件を満たすことが必要です。

応募する研究機関は、研究の推進に係る運営管理等を行う中核機関であること。中核機関は、原則として、以下の から のセクターのうちいずれかであって、少なくとも1以上の機関(共同機関)と共同研究を行うこと。

セクター 都道府県、市町村、公立試験研究機関

セクター 大学、大学共同利用機関

セクター 独立行政法人、特殊法人、認可法人

セクター 民間企業、公益法人、生産者等

中核機関には、研究課題の実施に責任を持ち、これに十分な時間を確保できる研究総括者をおくこと。

## 研究期間

研究期間は1課題につき3年以内です。ただし、この期間で成果を挙げることが困難と考えられるものは5年以内とします。

## 審査方法

採択する研究課題は、外部委員が行う書面審査やヒアリング審査などの結果に基づき決定します。

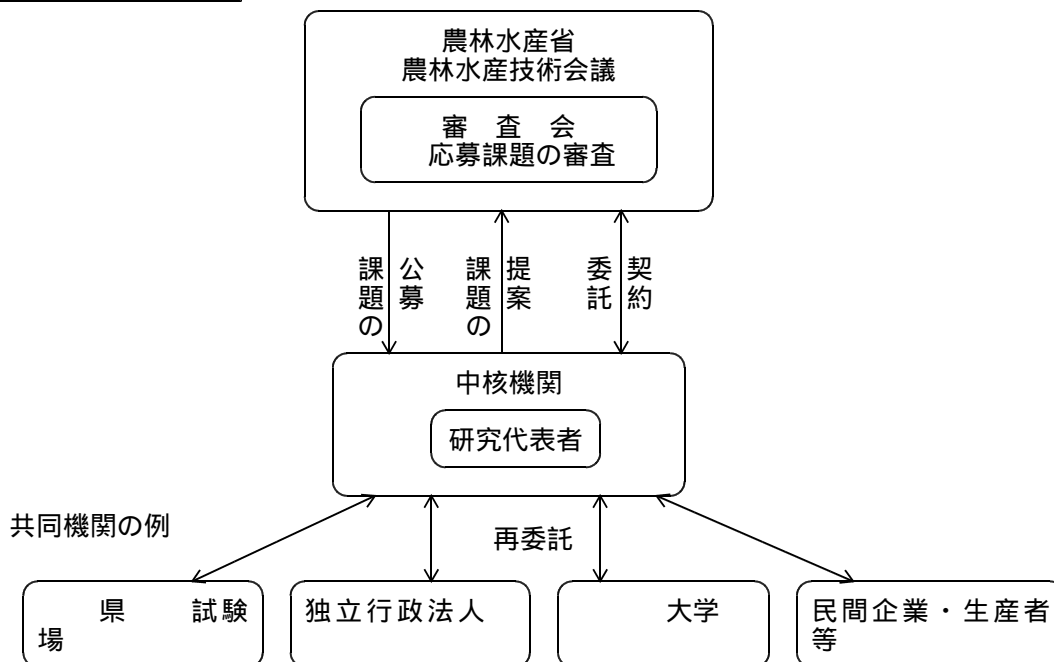
## 実施方法

採択された研究課題については、農林水産省が中核機関に委託するとともに、中核機関が共同機関に再委託することにより研究を実施します。

## スケジュール

平成15年度の研究課題の公募の開始は、15年1月から2月までの間に行う予定です。(スケジュールの詳細はホームページでお知らせします。)

## 基本スキーム



## 相談窓口

研究の課題化や共同研究の企画等については、以下の研究センターにご相談下さい。

北海道地区	北海道農業研究センター	研究交流科	tel : 011-857-9258
東北地区	東北農業研究センター	研究交流科	tel : 019-643-3406
関東東海北陸地区	中央農業総合研究センター	研究交流科	tel : 0298-38-8509
近畿中国四国地区	近畿中国四国農業研究センター	研究交流科	tel : 084-923-4563
九州沖縄地区	九州沖縄農業研究センター	研究交流科	tel : 096-242-7684
専門研究機関	農業生物資源研究所	植物企画連絡科	tel : 0298-38-7426
"	農業環境技術研究所	研究企画科	tel : 0298-38-8180
"	農業工学研究所	研究企画科	tel : 0298-38-7504
"	食品総合研究所	研究交流科	tel : 0298-38-7990
"	国際農林水産業研究センター	研究企画科	tel : 0298-38-6331

## 問い合わせ先

この応募手続きなど全般に関する問い合わせ先は以下のとおりです。

農林水産省 農林水産技術会議事務局 地域研究課 振興班  
 東京都千代田区霞が関 1 - 2 - 1  
 tel : 03(3502)8111 内線 5191, 5192 fax : 03(3502)0762  
 ホームページ : <http://www.s.affrc.go.jp/docs/news/koubo/high.htm>  
 社団法人農林水産技術情報協会 研究開発部  
 東京都中央区日本橋兜町 1 5 - 6 製粉会館 6 階  
 tel : 03(3667)8931 fax : 03(3667)8933  
 ホームページ : <http://www.afftis.or.jp/>

本資料は、平成 15 年度予算の成立を前提として作成しておりますので、今後変更等があり得ることをご承知おきください。

# 現場対応型の提案公募による研究開発システム

## < 産学官の連携 >

### 研究領域設定型研究

農林水産省が設定する施策推進上の重点研究領域に対応した研究開発を推進

### 地域活性化型研究

#### 独創的現場ニーズ活用型研究

生産者等が自らの発想を活かし、公立試験研究機関、大学、独立行政法人等の支援のもと農林水産現場の独創的な技術ニーズを活用した研究を推進

#### 地域競争型研究

地域における生産者、食品産業等の中堅・中小企業、公立試験研究機関等の研究者が構成員となり、他の地域にない固有の特産作物やアイデアを活用し、短期間で実用化を目指す研究開発を推進

#### 広域ニーズ・ニーズ対応型研究

広域地域の産学官の研究者が構成員となり、特定の研究機関やオープン・ラボに研究者を結集する等により効率的・効果的な研究開発を推進

農林水産施策への反映

先端的農業経営を支える研究開発の高度化

生産者と一体となった地産地消や地域の食品産業等の活性化

地域が抱える共通課題の効率的・効果的解決

### <研究課題例>

野菜・茶及びウメの原産地判別技術の開発  
シックハウス対策としての特定の木質建材に関する化学物質の放散特性の解明

### <研究課題例>

突然変異等を利用した育種及び栽培技術の開発  
野菜用の省力農業機械の改良  
土着天敵を利用した施設野菜の生物的防除法の確立

地域特産作物の機能性の解明と新規利用用途の開発  
バイオテクノロジー等を活用した高付加価値地域特産農作物の育成

未利用有機資源(農作物選別残さ・食品製造残さ・漁業系廃棄物等)の有効利用技術の確立  
野菜・果樹・花き等の品質保持技術の開発

新鮮でおいしい「フード・日本」  
食品の提供

先端的農業経営を支える  
研究開発の高度化

地域科学技術の振興

食の安全と安心の確保

農業の構造改革の加速化

科学技術駆動型の地域経済発展の推進